


十条北ブロック 第22回ブロック部会 議事要旨	
開催日時	令和元年10月8日(火) 14:00~15:30
開催場所	上十条五丁目町会会館
出席者	部会役員：松岡部会長、小菅副部会長 事務局：北区 十条まちづくり担当課 石本課長、川添主査、濱崎、小栗 コンサル：アルメックVPI 高尾、木村、小島
参加者	12名
議題等	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 前回のおさらい 3. 議題 ○上五防災ふれあい広場の管理と活用方法について 4. 閉会
	
【第22回十条北ブロック部会の様子】	

議事要旨

1. 開会あいさつ
——十条北ブロック部会長あいさつ——

本日は第22回の北ブロック部会ということで、お集まりいただきありがとうございます。広場の工事が進むなか、本日は広場の管理と活用方法についてご議論願います。どうぞよろしくお願いたします。

2. 前回のおさらい
 第21回ブロック部会の議題と、質疑・意見等の概要を参加者全員で確認した。

3. 議題
——上五防災ふれあい広場の管理と活用方法について——

コンサルより、上五防災ふれあい広場の管理と活用方法について説明した。

——質疑、意見等——

○広場の管理について
【女性グループ】
 参加者：上十条五丁目緑地の管理（掃除）は、永寿クラブが毎週水曜日に行っている。このため、

これ以上永寿クラブに依頼するのは無理がある。この広場は町会で実施すべきだろう。広場近くに居住されている方の協力も必要となる。

参加者：犬猫の糞の発生が懸念される。猫への餌やりも同様だ。

参加者：ペットの犬を広場内に入れないような標識を設置してもらいたい。

北区：管理する道路公園課に相談する。

参加者：植木の剪定は区が実施することになると思うが、上十条五丁目緑地の場合は、何度も電話してもなかなか実施してくれない。

参加者：上十条五丁目緑地の場合、管理活動のかかる費用は、2ヶ月単位で報告書提出後に入金されているが、この広場も同様の扱いとなるのか。

北区：同じ扱いになる。

【男性グループ】

参加者：掃除用道具は支給されるのか。

北区：支給される。

参加者：植木に水遣りをする場合、水飲水栓が自閉式であると、散水できない。

北区：水飲水栓は自閉式であるが、広場内に散水栓がある。

参加者：広場内で鳩に餌遣りをする人がでてくる可能性がある。規制できないか。

北区：保健所において、注意する程度しかできない。

参加者：犬猫等の死骸があった場合は、どうするのか。私有地の場合は3,000円で保健所が引き取ってくれる。

北区：道路公園課まで連絡されたい。あとは区の方で対応する。

参加者：たばこのポイ捨て禁止を示すステッカーをもらいたい。

北区：担当に確認する。

○広場の活用について

【女性グループ】

参加者：広場は狭いため、防火貯水槽の活用とかまど活用の両方を行うのは無理だ。

参加者：広場の活用について具体的な話をしていくためには、町会の防災対策部長がいないとできない。

参加者：いつ頃がよいか。

参加者：開園してすぐがよい。お披露目的の意味合いを前面に出したい。

参加者：アルファ米による炊き出しより、バーベキューがよい。

参加者：広場のお披露目という意味でも、バーベキューがよい。

参加者：かまど活用は火の付け方の訓練にもなる。

参加者：どの程度の集客を想定するかが難しい。

参加者：豚汁がよいのではないか。作り方に慣れていて、大勢の人にも柔軟に対応できる。

参加者：燃料をどうするか課題がある。

【男性グループ】

参加者：以前、町内で火事があり、スタンドパイプでホースを3本連結して放水したが、威力がなくてうまくいかなかった。原因は、連結したことによるものではなく、水圧が不足していたことによる。

参加者：放水訓練は普段しっかり行っているため、かまどベンチの活用がよい。

参加者：アルファ米による炊き出しをやる場合、どの位の時間でお湯が沸くのか。

コンサル：どの位の時間で沸くかの実験をするところに意味がある。

コンサル：女性グループから豚汁がよいのではないかという意見があるが、どうか。

参加者：それでよいのではないか。

北区：お湯を沸かしている時間を活かし、他の活動をするのもよい。例えば、町内に設置されてあるスタンドパイプや消火栓を、オリエンテーリングで見つけるとか。

参加者：これからの準備が大変である。当日までに決めることが沢山ある。ところで当日は、区は手伝ってくれるのか。

北区：第23回ブロック部会として開催したい。区もコンサルも主体的に参加する。

○次回のブロック部会に向けて

コンサル：本日の意見の流れでは、次回のブロック部会で、広場の活用訓練として、かまどを活かして豚汁をつくることになったが、最終判断は町会の定例会に委ねられることになる。そのうえで、詳細について会長等と事前の打ち合わせを行い、当日を迎えることとなる。

○今後の密集事業について

参加者：今後、広場を新たに整備する場合、どのような条件があるのか。

北区：面積は100㎡以上であって欲しい。位置は、上五防災ふれあい広場から100m圏域より外側であって欲しい。

参加者：十条仲原三丁目ではどうか。まったく空き地がないようだ。

北区：密集事業により広場を設置していくこととしているが、候補地等の提供と広場としての条件が一致すればよいが、そうでない場合が多々ある。まずは相談して欲しい。

———その他（お知らせ）———

北区：北区都市計画マスタープランが改定されることになり、改定案についてパブリックコメントが実施される。

参加者：改定案はどこで閲覧できるのか。

北区：北区ホームページ、地域振興室、区立図書館などで閲覧できる。

4. 閉会あいさつ

———十条北ブロック副部長あいさつ———

長時間に渡り、たくさんご意見をいただきありがとうございました。次回もありますので、また、よろしくお祈いします。本日は、ありがとうございました。